

中学1、2年生の保護者の皆様へ

栃木市こども家庭センター

「児童・生徒の生活実態に関するアンケート調査」ご協力をお願い

この度、栃木市では市内の学校に通っている中学1、2年生を対象に、生活実態に関するアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、主にヤングケアラー(※)と思われる生徒が抱える悩みや困りごとを把握し、ヤングケアラー及びその家庭への支援の方法を検討するために行うものです。お子様には、無理のない範囲で回答いただくようお願いすることとしていますので、ご理解をお願いします。

なお、ご回答いただいた内容は、本調査や関連する事業の目的以外には使用いたしません。

(※)ヤングケアラーとは

「ヤングケアラー」とは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」のことを指します。具体的には、以下のようなケースが想定されます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守り・声かけ・気づかいなどの情緒的ケアをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



障がいや病気のある家族に代わり、家計を支えるために働いている。



精神疾患やアルコール・薬物・ギャンブルなどの問題を抱える家族の情緒的ケアや周囲との調整などを行っている。



がん・難病のほか慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

【調査の概要】

- 所要時間は、15～20分程度です。
- 調査は基本的に学校生活での時間を利用して実施します。
- 主な調査項目として、家庭での介護等の状況、悩みや困りごと、相談相手の有無、相談を希望するか等をお聞きします。
- 調査結果については、個々の回答が特定できないように統計的な処理を行った後、公表する予定です。
- 本調査を行った結果、相談を希望する児童生徒に、市等が面接を行う場合があります。

こども家庭センター児童家庭相談係
連絡先：0282-25-5149